

キックオフイベント オンラインセッション開催報告

イベント名 共催シンポジウム8A:カーボンニュートラル

開催日時 6月23日 11:00~12:00

登壇者など

【座長】

齋藤 晃太郎(Deloitte Tohmatsu Science and Technology、有限責任監査法人トーマツリスクアドバイザリー事業本部オペレーショナルリスク マネージングディレクター)

【演者】

- 宍戸 圭介(Deloitte Tohmatsu Science and Technology、有限責任監査法人トーマツリスクアドバイザリー事業本部 ESG統合報告G マネジャー)
- 毛利 研(Deloitte Tohmatsu Science and Technology、有限責任監査法人トーマツ デロイトアナリティクス マネジャー)
- 大場 久永(Deloitte Tohmatsu Science and Technology、有限責任監査法人トーマツ デロイトアナリティクス マネジャー)

【討論者】

- 森章(東京大学先端科学技術研究センター・教授)
- 原口唯(株式会社YOUI・代表取締役/長崎大学研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター・准教授)

参加人数 59名

報告内容

日本政府はカーボンニュートラル(2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする)を目指すことを宣言したが、CO2排出量を実質ゼロにするための技術の社会実装についてのロードマップは示されていない。カーボンニュートラルの達成のためには、関連技術をCO2排出削減量のポテンシャル、CO2排出削減コスト、技術成熟度等の観点から精査しなければならない。本セッションでは、デロイトトーマツサイエンス&テクノロジー(DTST)と共催で、DTSTが作成したカーボンニュートラルの技術リストを取り上げ、その作成過程や利用方法について解説を行った。とくに技術リストでは、最先端の自然言語処理技術を駆使して、国内外の新聞記事を分析。脱炭素技術トピック毎の注目度や進捗度合いを可視化した。討論者からは、技術リストについてその貢献度や実現性を評価するために、専門家による保証・確認が必要ではないかといったコメントや、クラウド型データベースにして外部からも技術リストを提案・掲載できるようにしてはどうかといった前向きな意見が出された。フロアとの質疑応答も活発で、盛況なセッションとなった。